



軽トラックに家財などを積み、昭和の森公園の避難所から統合避難所に移ってきた男性(左)。市職員が荷物運びを手伝った=3日午前9時26分、長野市吉田

台風19号災害を受けて長野市が設けた指定避難所8カ所の閉鎖のめどとなつて3日、長野運動公園総合体育馆を開いた「統合避難所」の運営が始まった。避難所にいた大半の避難者が応急仮設住宅に引っ越しなどし、統合避難所には同日午後5時現在で27世帯59人が移動。市は5カ所の避難所

を閉鎖した。一方、市教育委員会は同日、避難所を出た後の行き先が未定だった世帯が解消されたと明らかにした。

【関連記事2・26面】

この日は、朝から荷物を手にした避難者が姿を見せ、段ボールや布団などを黙々と運び込んだ。市職員らも支援物資を搬入。夕方からは仕事や学校を終えた家族連れの姿もみられ、作業は夜まで続いた。

市教委総務課によると、市内の避難者は2日朝時点で指定避難所8カ所と福祉避難所1カ所の計106世帯235人。統合避難所に移るのは、自宅の応急修理を待つ世帯や、借り上げ型応急仮設住宅(みなし仮設住宅)のクリーニングを待つ世帯などとみられる。一方、11月23日時点できき先未定だった25世帯は、仮設住宅などへの入居を決定。入居までの仮住まいの位置付けの統合避難所の閉鎖のめどは20日している。

避難者のうち指定避難所の豊野西児童センターにいる5世帯は、帰宅予定の美濃和田団地(豊野町)の修繕が間もなく終わる予定のため、特別的に同センターに残る。信州新町で地滑りの危険から教職員住宅や市営住宅に避難していた2世帯は3日までに、それぞれ避難先としていた住宅に入居した。

# 統合避難所スタート

県会11月定例会は一般質問  
初日の3日、質問した6人中  
5人が台風19号豪雨災害の対策について質問した。浸水被害を受けた長野市管理の浅川第1排水機場について、市に代わって、県が復旧することを検討する考えを示した。

【一般質問発言4面】  
同機場の復旧は市が県に支援を要望している。山本智章農政部長は「被害が甚大である、既存のポンプを災害に強い形式に見直す全面更新が必要だ」と説明。「復旧に高度な技術を要することや、長野

## 浅川排水機場 県が復旧

県会一般質問で方針 長野市に代わり

統合避難所が設けられた長野運動公園総合体育館の出入り口。閉鎖する避難所の物資を市のトラックが届けた=3日、長野市吉田



## 長野 統合避難所スタート

台風19号被災者向けに長野市が3日、運営を始めた長野運動公園総合体育館の「統合避難所」。市によれば、27世帯(午後5時時点)が移つたものの、避難所を出た後の行き先はいずれも決まつたという。ただ、同じような境遇の世帯が身を寄せて過ごした避難所を出て、応急仮設住宅などでの暮らしを始めることへの不安は根強い。統合避難所閉鎖のめどとする20日までの間は「準備期間」とも言える。移行後も含め、状況に応じた支援が欠かせない。

【1面参照】  
3日、古里小学校の指定避難所から統合避難所に移った同市穗保の会社員、土屋剛志さん(51)の自宅は床上約1・1㍍が浸水。同居の80代の両親と生活再建を考える上で、避難所に張り出された行政情報や各種

があり、今後の治水対策について質問が出た。阿部守一知事は「国がリーダーシップを取つて上流と下流のバランスを取りながら改修を進めることが重要だ」と強調。「狭窄部の河道掘削に加え、遊水地などの洪水調節施設の設置も検討するべき重要な対策だ」と述べた。

千曲川は長野市穂保で堤防を越水した末、決壊した。下流の中野市立ヶ花で川幅が急に狭くなる「狹窄部」があることが原因の一つとの見方を検討する考え方を示した。

# 状況に応じた支援必要



説明会の内容を参考にした。統合避難所を出た後、当面は上高井郡小布施町の姉宅に住む予定だが、「代々受け継いできた自宅を再建して戻る」と決断した。

市は12月1日から入居が可能になつた建設型応急仮設住宅などの当面の住まいを十分確保する一方、当初

【1面参照】  
市内の指定避難所などについて、寒さが厳しくなることなどを踏まえ、「11月末」をめどに閉鎖する方針を表明していた。ただ、同月23日時点

で、避難所を出た後の行き先が未定の人は25世帯に上つていた。

被災後、市内の避難所生活の被災者は一時800人を超えた。市は西日本豪雨被災地の取り組みも参考に、責任者を固定的に配置するなどして、被災者の移行支援に力を入れた

とする。市職員が、心身のケアに当

を置くことなどを助言した。

長野市指定避難所の一つ、北部

ボーツ・レクリエーションパークで

も避難所運営の専任担当者が、応急

仮設住宅などへの入居を迷う避難者

に、外観写真や図面を見せて安心感

を与えるようとした。

ただ、23日時点では行き先が未定

だった25世帯の中には、災害のショッ

長谷川部長は、県が管理する737の1級河川で改修が必要な約2200㍍のうち、対策済みは「約4割」と説明。被災箇所の復旧を優先しつるとした。

長谷川朋弘建設部長は、県管

理部分の国による直轄化につ

いて「具体的な動きは見られ

ない」としつつ、「今後も粘

り強く要望していく」と述べた。

農機具も被災を受けた大変な

事態となつていて」と強調した。

意見交換は冒頭以外は非公

開。江島委員長は取材に「被

害状況の大きさを実感した。

意見や要望を踏まえてしつか

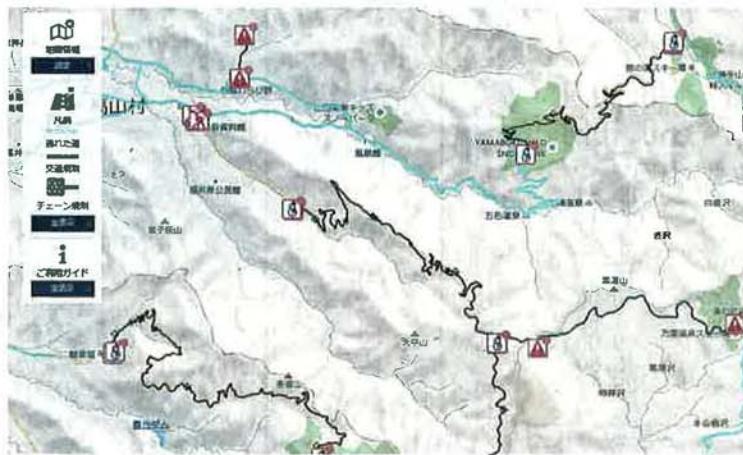
りと委員会で対策を検討す

ると述べた。

TOYOTA

通れた道マップ  
災害発生時の安全な走行のために

お知らせ  
台風19号による豪雨災害への対応に伴う表示エリア変更を終了しました。  
現在は、通行実績、交通接続情報を表示しています。



実際に走行している車に搭載した通信機器を使い、  
走行可能な道路を地図に反映したトヨタ自動車の  
「通れた道マップ」(トヨタ自動車のHPから)

台風や地震などの大規模災害が起きた際、車に搭載した通信機器を使い、実際に走行できた道路を迅速に反映した地図が活用されている。トヨタ自動車とホンダがホームページなどで公開している。崖にわたった2011年の東日本大震災による豪雨災害への対応に伴う表示エリア変更を終了しました。現在は、通行実績、交通接続情報を表示しています。

# 災害時「通れた」道 ネットで迅速公開

トヨタとホンダ 安全走行狙い

崩れや冠水などで通行できない道路がある中、手軽にインターネットで最新状況を確認できるようになり、安全走行につなげてもらうのが狙いだ。トヨタは、被害地域が広範な一定規模以上の道路を色づけして、地図上に同時に反映させている。

行政にとっても、災害時の道路被害の確認はパトロールによる目視で行われるため、迅速な把握は難しい。16年の熊本地震の際は、通れた道マップの1カ月間のアクセスは100万件に上った。

東日本で大きな被害が出た今年10月の台風では、道路の冠水で車が水没し死者も出た。トヨタは今後、車に付いたカメラの映像の分析を基に、冠水情報もマップに表示したいと考えた。

ホンダもグーグルマップやヤフー地図に、通行実績の情報を提供している。グーグルマップには災害後の一定期間、ホンダ車の1日の走行実績が毎日反映され、通行可能な道が分かるよう色づかれる。高速道路や国道など大きな道に加え、細かい生活道路の状況も確認できるとい

う。